

【高等学校用】

令和5年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀県立鳥栖工業高等学校【定時制】
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・計算力トレーニング等の取組により、生徒の学びに対する意欲が向上した。基礎学力向上と資格取得の取組については、今後も引き続き継続するとともに、各授業の魅力向上にも努める必要がある。 ・定時制の生徒はアルバイト等で社会との関わりを持つことから、異年齢とのコミュニケーションのレベルも相対的に高い。次年度は、就労に意欲がない一部の生徒に対し、重点的な指導が必要である。 ・生徒の健康や食に関する意識は高いが、スポーツについては、苦手意識を持つ生徒もいる。体を動かすことの楽しさを実感させ、生涯にわたってスポーツを楽しむ習慣を育まなければならない。 ・キャリア教育については、生徒一人ひとりの能力や適性、特性等を見極め、丁寧に対応することができた。次年度は卒業年次生のみならず、全学年の生徒に対し、定時制ならではの将来を見据えた手厚い指導が必要である。
2 学校教育目標	働きながら学ぶという基盤に立ち、広い視野と豊かな創造力を持ち、自ら学ぶ意欲と自らを律する力を備え、心身共にたくましく、個性豊かで人間愛に満ち、社会に貢献できる人材を育成する
3 本年度の重点目標	<p>ア 基本的生活習慣の確立を図る。 イ 学習意欲を向上させ、主体的・自主的な学習態度及び読み解く力を育てる。</p> <p>ウ 進路指導の充実を図る。 エ 健康管理とスポーツの振興を図る。 オ 志を高める教育の推進を図る。</p>

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標 (数値目標)					
●学力の向上	○基礎学力の定着	○「計算力アップトレーニング」の積み重ねにより、基礎学力の向上を実感した生徒80%以上を目指す。	・定期的に「計算力アップトレーニング」を実施し、学習の積み重ねによる達成感を持たせる。 ・各教科で基礎学力定着のための時間を確保する。	B	・継続的に問題を解いていくことにより、基礎力の向上につながっている。基礎学力の向上を実感した生徒は76%であり、目標には及ばなかった。今後もこの取り組みに工夫を加え計算力の向上を目指していきたい。	B	・生徒自身目標をもって意欲的に取り組める取り組みなので、今後も続けてほしい。
	○資格取得の促進	○資格取得に積極的に取り組ませ、検定合格70%、国家資格取得50%以上を目指す。	・資格取得のための補習を実施する。 ・高度な資格の取得に挑戦する生徒に対し、個別指導を行う。	A	・計算技術検定4級・3級、パソコン利用技術検定3級の合格率はいずれも75%を超え目標を達成した。 ・危険物取扱者乙種4類は合格率0%だったが、丙種は合格率100%という結果になった。また電気工事士についても合格率が第一種67%、第二種100%と個別指導の成果が現れた。	A	・資格取得の目的や動機づけについて、きちんと説明をお願いします。 ・働きながら学ぶ生徒に対し、資格取得と勤務の両立ができる体制ができればなおよい。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○ホームルーム活動等を通して、人権・同和教育や進路保障の学習会を実施し、基本的人権の尊重を重視できる生徒100%を目指す。	・ホームルーム活動等にて、人権・同和教育や進路保障の学習会を実施する。 ・人権・同和教育に関する講話を計画的に実施する。	B	・計画通り人権・同和教育に関する行事を実施できた。学校評価アンケートでは、基本的人権を尊重できる豊かな心が身についたと思う生徒が82%のいた。豊かな心が身につけているように、引き続き、取り組んでいきたい。	B	・仲間づくりの基本となる学習であるので、引き続きよろしくお願ひします。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの未然防止、早期発見、即時対応に向けて、いじめの問題への対応に係る年間計画に基づき、その取組を100%実施する。	・いじめ対応についての職員研修を前期と後期に実施する。 ・定期的に学校生活アンケートを実施して、いじめの早期発見・早期対応に努める。	A	・学校生活アンケートやいじめアンケートもおこなったが、いじめを訴える生徒はいなかった。対応に係る計画もほぼ実施できた。学校全体も落ち着いており、いじめの兆候もみられない。予防的指導にも取り組んでいきたい。	A	・生徒さんたちに寄り添いつつ、早期発見に努めてほしい。
	◎★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動の推進	○佐賀県の良さについて、その理解を深めることができた生徒80%以上を目指す。	・「佐賀語り」を使用して、佐賀県の歴史や文化、自然等について学ばせる。 ・佐賀県について興味を持ったことを学習用PC等を活用して、調べ学習を行わせる。	B	・「佐賀語り」を通して、佐賀の歴史や自然について、学ぶことができた。また、学習用PCを使い佐賀の魅力についても調べることができた。72%の生徒が理解を深めたようだが、継続的な指導により理解度を高めたい。	B	・自分たちでテーマを選び、郷土の文化・歴史・産業等と触れ合う機会は、多くないと思うが佐賀の良さを知って卒業してほしい。
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康によい食事をしている」生徒100%を目指す。	・定期的に「保健だより」を発行する。 ・講演会や個人面談を通して、健康に関する意識を高める。 ・給食指導(手洗い・マナー等)の徹底を図る。 ・食育に関する啓発活動を推進する。	A	・毎日の登校時、生徒全員に対して健康観察のための声かけと体温測定を実施した。給食をきちんと食べるように呼びかけた成果もあり、今まで食べていなかった生徒も給食を食べるようになってきた。調査の結果79%であった。今後も生徒1人ひとりへの声かけや「保健だより」等を通して健康に対する意識を高めていきたい。	A	・健康の第一歩は、食事と考える、今後も生徒への働きかけをお願いしたい。
	○運動習慣の改善や定着化	○基礎体力・持久力向上のために、授業において、生徒の運動活動に対する満足度を90%以上にする。	・体育の授業に、「ターゲット型」種目を採用し、少人数でも各人が目標を定めて課題解決をする授業内容を導入する。 ・部活動を通して、生涯スポーツの基礎を身に付けさせる。	A	・生徒の体力が向上し、体育授業での継続的活動が問題なくできるようになった。生徒たちの72%が満足度を感じている。運動をする習慣が付いてきている。 ・少人数でも実施できる種目としてフットサルを採用し、生徒もより多く参加し、授業活動が充実した。	A	・生徒たち自身が、楽しんで参加できる環境を作っていたが、体力増強に努めてほしい。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守し、年休取得を奨励し平均14日以上を目指す。	・出退勤管理システムを有効に活用し、長時間勤務の職員に対し、指導・助言を行う。 ・学校閉庁日を設定する。	A	・時間外在校時間の上限を超える職員はいなかった。年休は目標値を超え平均17日取得となった。 ・夏季休業中の平日に、4日間の学校閉庁日を設定したり、年休の取得を機会あることに促した。	A	・数値目標の達成はよいこと、仕事と休暇の切り替えて、健康を維持してほしい。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)					
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★実践的・体験的な活動の充実と県内外への情報発信	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合90%以上、教職員の割合90%以上	・校内組織を立ち上げ、高校魅力化の取組を強化する。 ・SNS等を活用し、学校の魅力を積極的に発信する。	B	・自分の学校を中学生に進めることができる割合が、生徒82%、職員86%と、目標値にやや達していない。充実感の得られる行事やPR活動を進めていきたい。	B	・今以上に外へのPRを活発に行って、本校の魅力発信をお願いしたい。
	○★将来を見通したキャリア教育の充実 ○★希望進路の実現のための個別最適な進路指導	○進路意識が高まったと考える生徒80%以上を目指す。 ○卒業年次生の進路希望(第1希望)の実現率80%以上を目指す。	・外部講師によるキャリア教育講演会等、生徒の実態に応じた講演会を開催する。 ・担任、科、進路指導部、全日進路指導部等と密に連携を図りながら、生徒一人ひとりに最適な進路指導を行う。	B	・希望進路の実現のための個別最適な進路指導については実施できた。キャリア教育の充実に関しては、講演会やガイダンスの実施など改めて検討が必要なものもあった。76%の生徒が進路意識が高まった。卒業予定生徒の第一希望進路実現率は83%だった。さらなる充実を目指して取り組んでいきたい。	B	・定時制を選択したことを誇りにできるような考え方ができればと思う。 ・生徒保護者への情報提供と丁寧な進路指導をこれからも進めてほしい。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力向上と資格取得の取組については、今後も引き続き継続し、計算力UPトレーニング等の取組により、生徒の学びに対する意欲をさらに向上させ、各授業の魅力向上にも努める必要がある。 ・生徒の健康や食に関する意識は高いが、スポーツについては、苦手意識を持つ生徒もいるので、体を動かすことの楽しさを実感させ、生涯にわたってスポーツを楽しむ習慣を身に付けさせる必要がある。 ・キャリア教育については、計画的に生徒一人ひとりの能力や適性、特性等を見極め、丁寧に対応することができた。全学年の生徒に対し、定時制ならではの将来を見据えた手厚い指導を工夫する必要がある。
----------------	--